PENTAX®

ESPIO105G
QUARTZ DATE

使用説明書

カメラの正しい操作のため、ご使用前に必ずこの使用説明書をご覧ください。

このたびは、ペンタックスESPIO105G（エスピオ105G）クォーツデートをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。「エスピオ105G」は、38ミリから105ミリまでのズームを備え、暗いときに自動的に発光するストロボなど、いろいろな機能を搭載したズームコンパクトカメラです。

- 本文中の写真・イラストは、実際の製品と異なる場合があります。
- 59、60 ページに切り取って使える「クイックガイド」がありますので、ご利用ください。
- 説明文中の以下のマークの注意事項には、特に気を付けてお読みください。

 補足説明が書かれています。

 注意していただきたいことが書かれています。

説明書本文中の記号について

操作の方向	←
自動的に動きます	↔
注目してください	
点灯します	
点滅します	

このマーク（CE）は、安全性・環境および消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項に適合していることを示すものです。CEとは、フランス語の Comunité Européen（欧州共同体）の略語です。

この製品の安全性については十分注意を払っておりますが、2ページにある下記マークの内容については特に注意をしてお使いください。

⚠ 警告

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が重大な傷害を受ける可能性があることを示すマークです。

⚠ 注意

このマークの内容を守らなかった場合、使用者が軽傷または中程度の傷害を受けたり、物的損害の可能性があることを示すマークです。

⃠ は、禁止事項を表わすマークです。

⚠ は、注意を促すためのマークです。

⚠ 警告

- ⃠ カメラを分解しないでください。カメラ内部には高電圧部があり、感電の危険があります。
- ⃠ 落下などにより、カメラ内部が露出したときは、絶対に露出部分に手をふれないでください。感電の危険があります。
- ⃠ ストラップが首に巻き付くと危険です。小さなお子様がストラップを首に掛けないようにご注意ください。
- ⚠ 電池は、幼児の手の届かない所に保管してください。万一電池を飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。

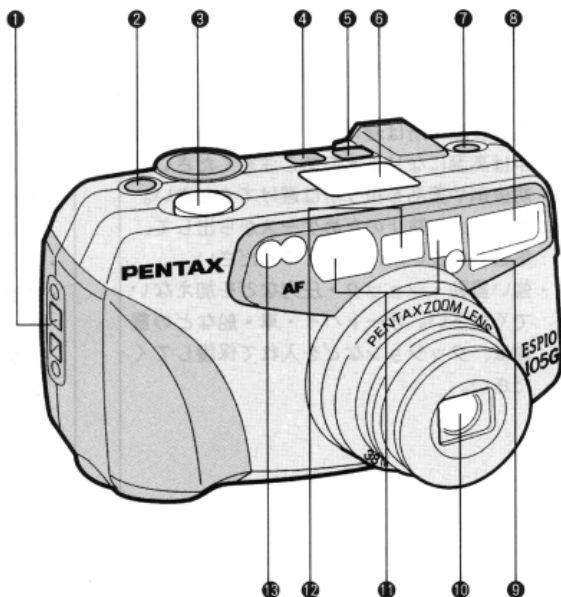
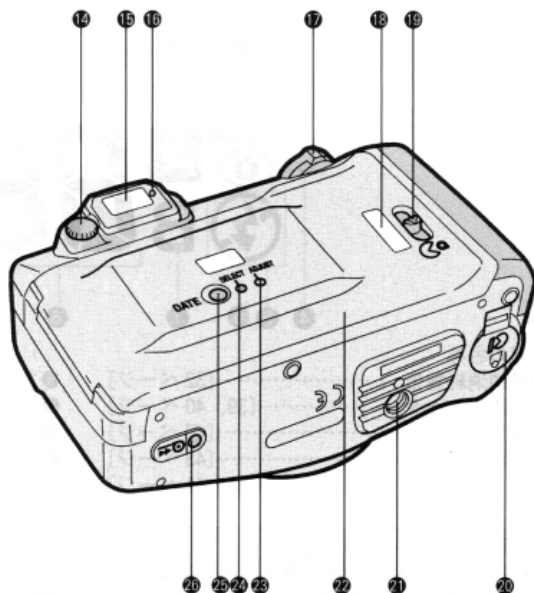
⚠ 注意

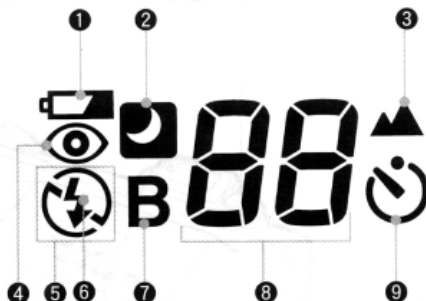
- ⃠ 電池をショートさせたり、火の中に入れないでください。また、分解や充電をしないでください。破裂・発火の恐れがあります。
- ⚠ 万一、カメラ内の電池が発熱・発煙を起こしたときは、速やかに電池を取り出してください。この場合、やけどに十分ご注意ください。

・汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの有機溶剤は使用しないでください。
・高温多湿の所は避けてください。特に車の中は高温になりますのでご注意ください。
・防虫剤や薬品を扱う所は避けてください。また、カビ防止のためケースから出して、風通しの良い所に保管してください。
・強い震動・ショック・圧力などを加えないでください。オートバイ・車・船などの震動は、クッションなどを入れて保護してください。

・レンズ、ファインダー窓のホコリはブロワーで吹き飛ばし、きれいなレンズブラシで取り去ってください。
・高性能を保つため、1〜2年毎に定期点検をしてください。長期間使用しなかったときや、大切な撮影の前には点検や試し撮りをしてください。
・カメラの使用温度範囲は−10℃〜50℃です。
・急激な温度変化を与えると、カメラの内外に水滴が生じます。カメラをバッグやビニール袋などに入れ、温度差を少なくしてから取り出してください。
・ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入らないようにご注意ください。故障の原因になります。
・雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

各部の名称

❶ストラップ通し[13ページ]
❷電源スイッチ[14ページ]
❸シャッターボタン[15ページ]
❹セルフ／遠景ボタン[37ページ]
❺ストロボ／バルブボタン[36ページ]
❻表示パネル[6ページ]
❼赤目軽減ボタン[36ページ]
❽ストロボ発光部
❾セルフタイマーランプ[45ページ]
❿レンズ
⓫測距窓
⓬ファインダー窓
⓭測光窓

⑭視度調整ダイヤル[20 ページ]
⑮ファインダー接眼窓
⑯緑ランプ[22 ページ]
⑰ズームレバー[23 ページ]
⑱フィルム情報窓
⑲裏ぶた開放レバー[16 ページ]
⑳電池ぶた[33 ページ]
㉑三脚ネジ穴[44 ページ]
㉒裏ぶた[16 ページ]
㉓ADJUSTボタン[50 ページ]
㉔SELECTボタン[50 ページ]
㉕DATEボタン[50 ページ]
㉖途中巻き戻しボタン[31 ページ]

表示パネル

この図は、液晶表示を全部表示した状態を表しています。

各部の名称

❶電池消耗警告 ……………………[32 ページ]
❷低速シャッター ……………[39、40 ページ]
❸遠景 ……………………………[47 ページ]
❹赤目軽減 ………………………[43 ページ]
❺ストロボOFF …………………[39、41 ページ]
❻ストロボON ……………[38、40、42 ページ]
❼バルブ …………………………[41、42 ページ]
❽フィルム枚数 ……………………[19 ページ]
❾セルフタイマー …………………[44 ページ]

液晶表示[LCD]について
- 約 60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることがあります。これは液晶の性質によるもので故障ではありません。

目　次

カメラを安全にお使いいただくために ……1
取り扱い上の注意 ……3
各部の名称 ……4
表示パネル ……6
使い方は簡単です ……8
こんな写真を撮るには？ ……10

準備編

ソフトケース ……12
ストラップ ……13
電源を入れましょう ……14
カメラの構え方 ……15

基本編

フィルムを入れます ……16
フィルム感度について ……18
視度調整 ……20
ファインダー内表示 ……21
ランプ表示 ……22
写したい物の大きさを変えます ……23
撮影します ……24
ピントが合わない場合 ……26
ストロボ自動発光 ……27
ストロボ撮影ができる距離 ……28
フィルムを取り出します ……29
フィルムの途中巻き戻し ……31
電池の消耗警告 ……32
電池の交換 ……33

応用編

いろいろな機能を選びます ……35
日中シンクロ撮影 ……38
低速シャッター撮影 ……39
低速シンクロ撮影 ……40
バルブ撮影 ……41
バルブシンクロ撮影 ……42
赤目軽減機能について ……43
セルフタイマー撮影 ……44
遠景撮影 ……47
フォーカスロック撮影 ……48
写真に日付や時刻を写し込みます ……50

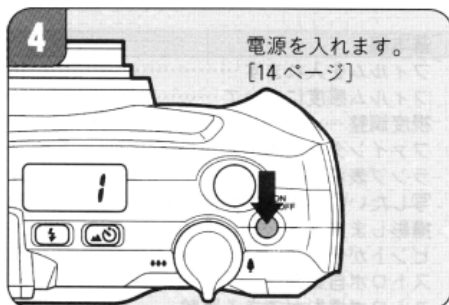
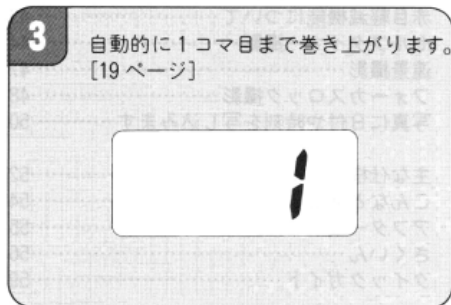
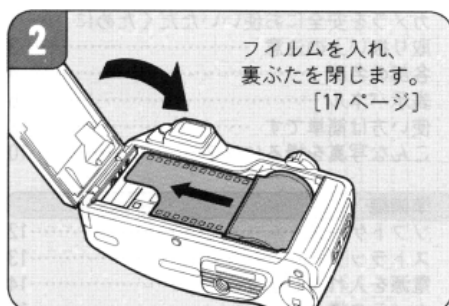
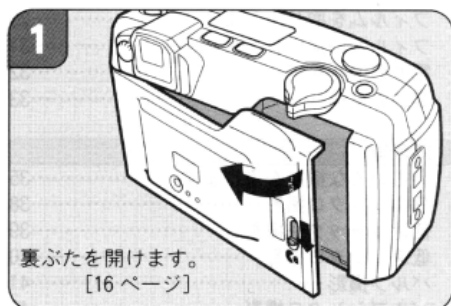
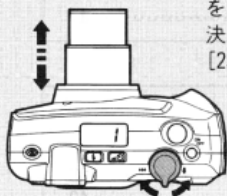
主な仕様 ……52
こんなときは？ ……54
アフターサービスについて ……55
さくいん ……56
クイックガイド ……59

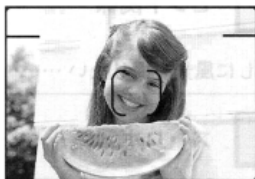
使い方は簡単です。[通常の撮影手順]

裏ぶたを開けます。
[16ページ]

フィルムを入れ、裏ぶたを閉じます。
[17ページ]

自動的に1コマ目まで巻き上がります。
[19ページ]

電源を入れます。
[14ページ]

5

ファインダーをのぞき、ズームレバーを動かして構図を決めます。
[23 ページ]

6

ピントを合わせたいものをファインダー内の〔 〕の内側に合わせます。[24 ページ]

7

シャッターボタンを押して撮影です。暗い所では自動的にストロボが光ります。
[27 ページ]

8

フィルムが終わると自動的に巻き戻しが始まります。
[29 ページ]

こんな写真を撮るには？

ピント関係

窓越しに風景を撮りたい……47

ストロボ関係

暗い所で写真を撮りたい……27
帽子などで影になっている人物の顔を明るく写したい……38
夕景をバックに人物を写したい……40
夜景をバックに人物を写したい……42
ストロボ撮影で目が赤く写らないようにしたい……43

ズーミング関係

写したい物を大きくや小さくしたい……23

人物撮影関係

帽子などで影になっている人物の顔を明るく写したい……38
夕景をバックに人物を写したい……40
夜景をバックに人物を写したい……42
自分自身も写真に写りたい……44

風景撮影関係

夕景を撮りたい……39
夕景をバックに人物を写したい……40
夜景を撮りたい……41
夜景をバックに人物を写したい……42
窓越しに風景を撮りたい……47

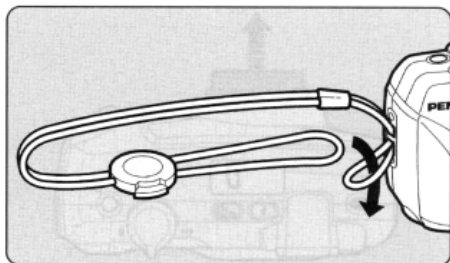
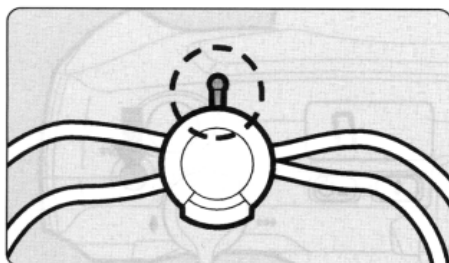
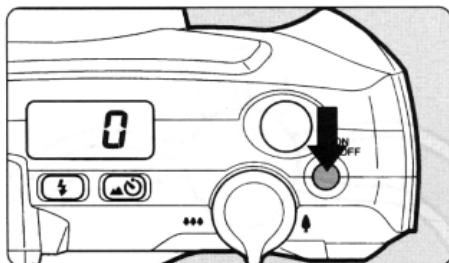
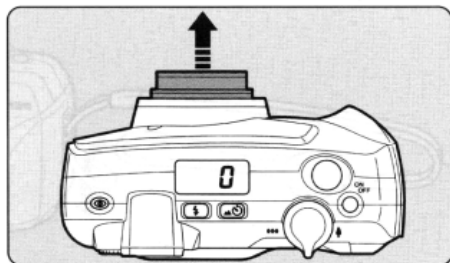
その他

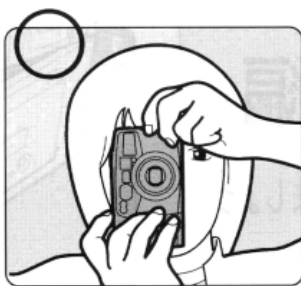
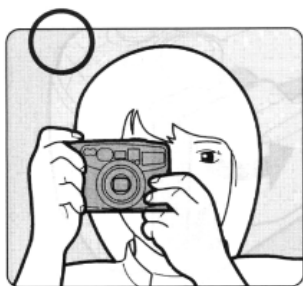
写真に日付や時刻を入れたい[消したい]……50

準備編

撮影前の準備をしましょう

ソフトケース

カメラをケースに入れるときは、電源を切ってから入れてください。

ストラップを図のように通します。

ストラップの図の部分は、フィルムの途中巻き戻し・電池の交換・日付の修正の際に使用します。
[31、33 、50ページをご覧ください]

電源スイッチを一度押すと電源が入ります。[撮影できます]
もう一度押すと電源が切れます。

電源が入るとレンズが少し前に出ます。

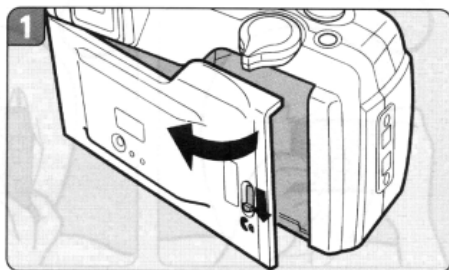
- 使用しないときは、必ず電源を切っておいてください。
- 電源を入れたまま放置した場合は、約３分間たつと、自動的に電源が切れます。[自動電源オフ]
- 3Vリチウム電池[CR123A 相当品] 1本を使用します。
- 低温では、一時的に電池の性能が低下することがあります。
- 海外旅行・寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。

撮影するときは、カメラを両手でしっかり持ち、カメラが動かないようにして、シャッターボタンを静かに押しましょう。
[強く押すとカメラが動いて、きれいな写真が撮れません。]

● カメラを縦位置に構えてストロボ撮影するときは、ストロボが上になるようにしましょう。影が自然な方向に出ます。

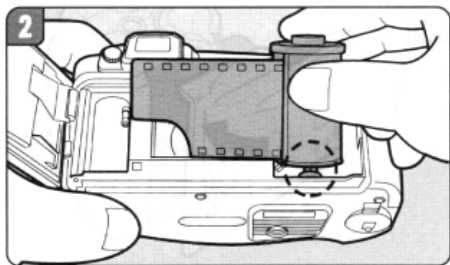
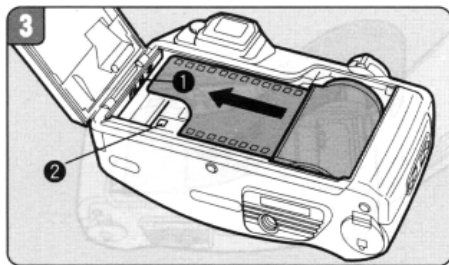
● 落下や故障の原因になりますのでレンズ部分を持たないでください。
● カメラ前面の測距窓・レンズ・測光窓・ストロボ発光部などを、髪や手でふさぐと、ピンボケ・露出不足・露出オーバーなどの原因になります。

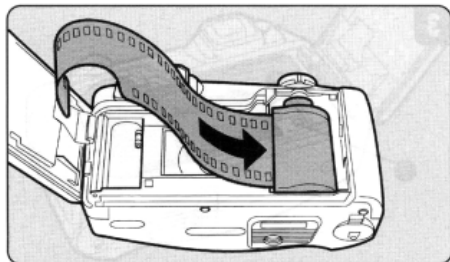
基本編

フィルムを入れて撮影しましょう

フィルムを入れます

1. 図のように、裏ぶた開放レバーを押し下げ、裏ぶたを開けます。

● フィルムはひととおり説明書を読んでカメラの操作に慣れてから入れましょう。

● フィルムは、直射日光の当たらない所で入れてください。

2. フィルムの凸側を上にして、下側から先に突起に差し込むように斜めに入れ、次に上側を入れます。

3. フィルムの先端を❶のフィルム先端マークまで引き出します。

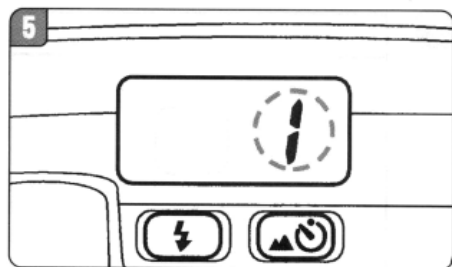
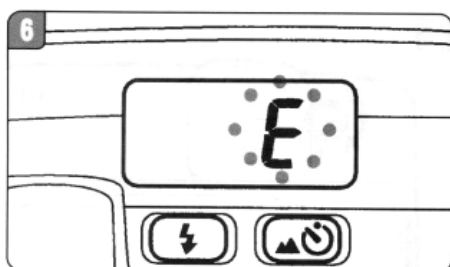
● フィルム検知部❷にゴミなどが付着するとフィルムが正しく巻き上げられません。

フィルムの先端が長く出すぎているときは、フィルムをパトローネに少し押し戻します。

4. 裏ぶたを「カチッ」と音がするまでしっかりと閉めてください。

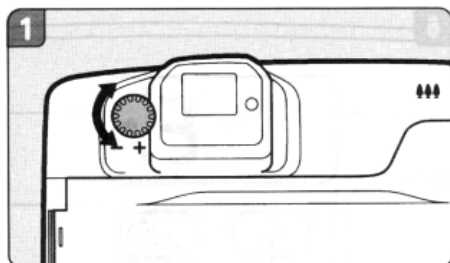
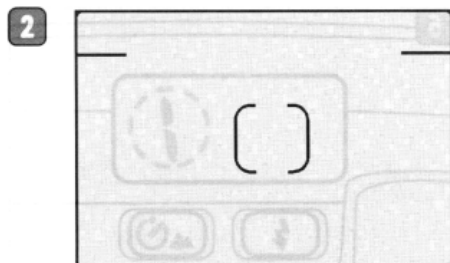
フィルム感度について

フィルム感度はフィルムを入れるだけで自動的にセットされます。

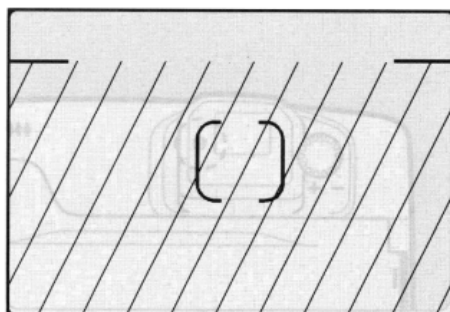
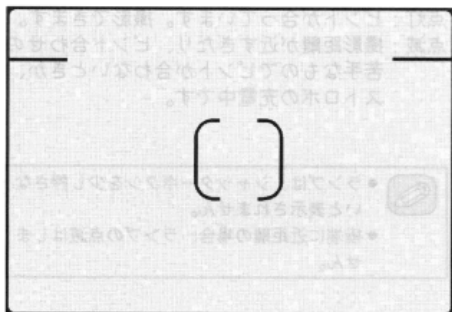
● ISO25～3200までのフィルムが使えます。
● 手ぶれ防止やストロボ撮影に有利なフィルム感度400［ISO400］の使用をおすすめします。

● 必要以上の高感度フィルムをお使いになるときれいな写真が撮れないことがあります。
● DX以外のフィルムは、フィルム感度が25にセットされてしまいますので使用できません。
● フィルムはまっすぐにたるみがないように入れてください。

5. フィルム枚数表示の 1 が出て自動的に止まります。必ず枚数表示が 1 になっていることを確認してください。

6. フィルムが正しく入っていないと、表示パネルに E が点滅して知らせます。裏ぶたを開けて、もう一度フィルムを正しく入れ直してください。

● フィルム枚数や E の点滅表示は電源を切っても約 5 秒間表示されます。

視度調整

1. カメラを明るい方へ向け、ファインダーをのぞきながら視度調整ダイヤルを回します。

2. ファインダー内の ( ) の線が最もはっきり見えるようにしてください。

● 視度調整は、ご使用前に必ず行ってください。

ファインダー内表示

ファインダーをのぞくと、図のような表示が見えます。見えている範囲が写真に写ります。

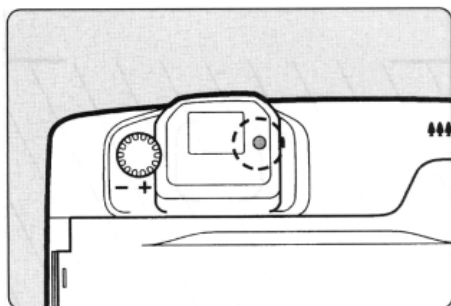
 表示

ピントの合う範囲です。この内側にピントを合わせたいものを入れてください。

1.0m以下での撮影

撮影距離がおよそ1.0mより近距離では、図の斜線部分が写真に写る範囲になります。写したいものをこの範囲内に入れてください。

● 表示が見えにくいときは、視度調整を行ってください。[20ページをご覧ください]

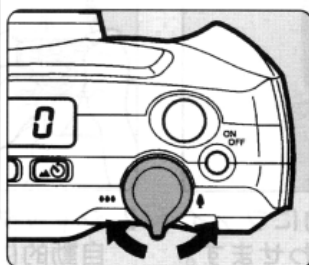
ランプ表示

ファインダー接眼窓の右横には、緑色のランプ表示があります。

点灯：ピントが合っています。撮影できます。

点滅：撮影距離が近すぎたり、ピント合わせの苦手なものでピントが合わないときか、ストロボの充電中です。

● ランプは、シャッターボタンを少し押さないと表示されません。
● 極端に近距離の場合、ランプの点滅はしません。

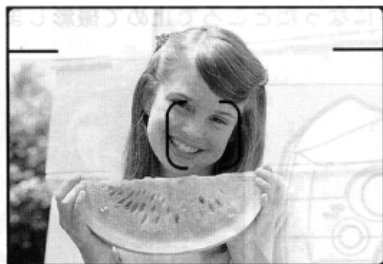
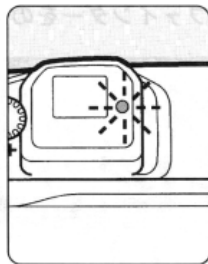
写したい物の大きさを変えます

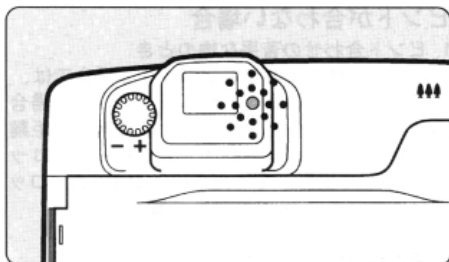
ファインダーをのぞきながら、好みの大きさになったところで止めて撮影します。

38〜105mm の範囲で
ズーミングができます。

広い範囲を
（ワイドで）写したい

大きく（アップで）
写したい

- レンズを下向きにして置くなど、ズームレンズには、無理な力を加えないでください。故障の原因となります。

撮影します

1. ピントを合わせたい物にファインダー内の〔 〕を合わせます。
2. シャッターボタンを少し押すと自動的にピントが合い、緑ランプが点灯します。

- 一度緑ランプが点灯してから別のものにピントを合わせ直すときは、シャッターボタンを押し直してください。
- 撮影できる距離は、0.65m より遠くです。
- サービスサイズのカラープリントでは、画面周辺の物がプリントされないことがあります。構図に少し余裕を持たせてください。

3. 緑ランプの点灯後、そのままシャッターボタンを押して撮影します。

緑ランプが点滅している場合はピントが合っていないか、ストロボ充電中です。撮影するときは、必ず緑ランプの点灯を確認してください。

- 測距窓が汚れていると、正しいピント合わせができなくなります。
- 緑ランプの点滅中はシャッターはきれません。

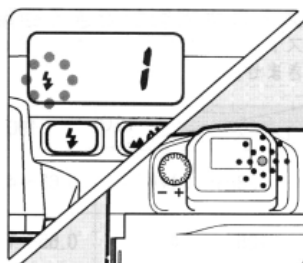
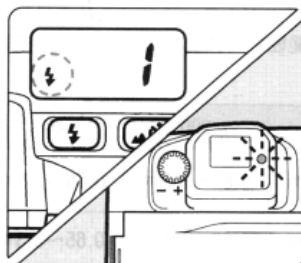
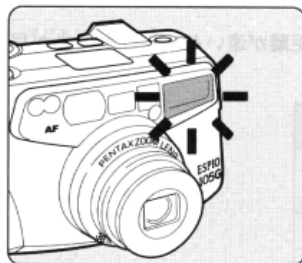
ピントが合わない場合

1. ピント合わせの苦手な物のとき

写したい物の条件が右記のような場合では、ピントが合わないことがあります。この場合は、ピントを合わせたい物とほぼ等しい距離にあるものにピントを固定[フォーカスロック]をして撮影してください。フォーカスロックについては48ページをご覧ください。

2. 撮影距離が近すぎるとき

撮影距離が近すぎるとピントが合いません。ピントを合わせたい物から、もう少し離れて撮影してください。撮影できる距離は、0.65mより遠くです。

1. 黒い髪の毛など、光を反射しにくいもの。
2. 金網・格子など、面積が小さいもの。
3. ネオンや蛍光灯・木もれ日などの点滅光源や、それによって強く照明されているもの。
4. ガラスや鏡、車のボディーなど、光沢があって反射するもの。
5. 速いスピードで動いているもの。
6. 噴水・水面・炎・花火など、形のはっきりしないものや霧の中のもの。

ストロボ自動発光
写したいものが暗いときや逆光のときに、ストロボが自動的に光ります。

シャッターボタンを少し押して、緑ランプと、表示パネルの ⚡ 表示が点灯すれば、ストロボが光ります。

緑ランプの点滅は、ストロボ充電中か、ピントが合っていないときでシャッターがきれません。点灯を確認してから撮影してください。

●ストロボを連続して使うと、電池が多少温かくなることがありますが、異常ではありません。

ストロボ撮影ができる距離 [ネガカラーフィルム使用時]

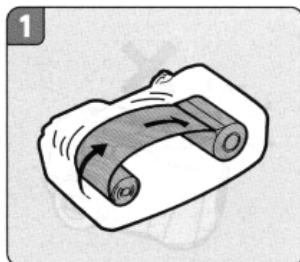
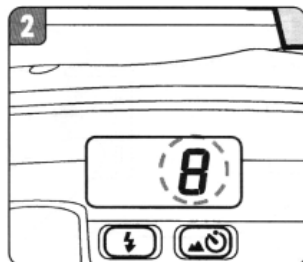
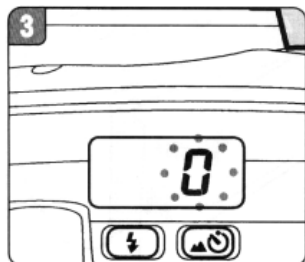
ストロボ撮影するときは、下表の範囲内で撮影してください。撮影距離が遠いとストロボの光が届きません。

レンズ ＼ ISO	100	200	400
38mm(♦♦♦)	0.65～4.1m	0.65～5.8m	0.65～8.2m
105mm(♦)	0.65～1.7m	0.65～2.4m	0.65～3.3m

ISO100、200、400以外の使用したときのストロボ撮影距離範囲

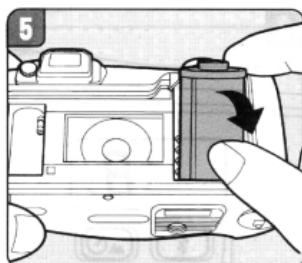
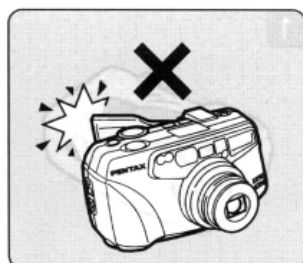
レンズ ＼ ISO	25	50	800	1600	3200
38mm(♦♦♦)	0.65～2.0m	0.65～2.9m	0.65～11.6m	(*) 0.8～16.3m	(*) 1.2～23.1m
105mm(♦)	0.65～0.8m	0.65～1.2m	0.65～4.7m	0.65～6.7m	0.65～9.5m

(*) 高感度のため近距離では露出オーバーになることがあります。

フィルムを取り出します

1. フィルムを最後まで撮り終えると、自動的に巻き戻しが始まります。

2. 巻き戻し中は、撮影枚数が逆算表示されます。

3. 巻き戻しが終わるとモーターは止まり、図のように表示パネルの 0 が点滅して知らせます。

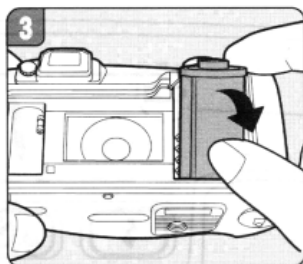
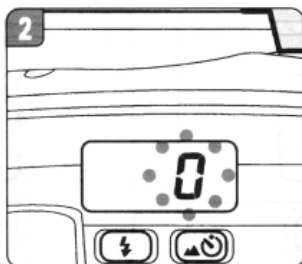
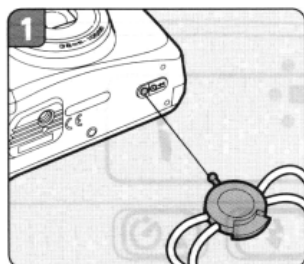
- 巻き戻し時間は 24 枚撮りで約 20 秒です。
- 巻き戻し完了時、光もれを防ぐためフィルムは、すべて巻き込まれます。
- 巻き戻し終了時の 0 点滅は約 5 秒間表示されます。

- フィルムは直射日光が当たらない所で取り出しましょう。

4. 裏ぶたを開けます。

5. 図のように上側から先に引き出してからフィルムを取り出します。

巻き戻し中は裏ぶたを開けないでください。

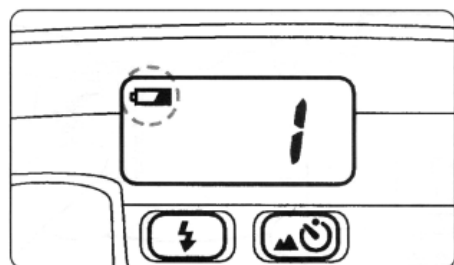
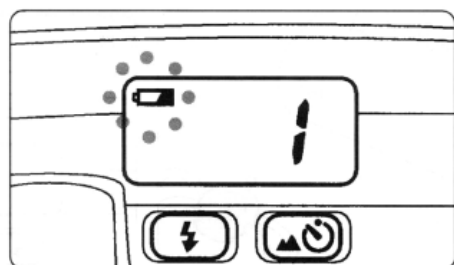
- 規定枚数になっても、まだ撮影が続けられるときは、フィルムの最後まで進んでから巻き戻しが行なわれます。

- フィルムの規定枚数を超えた最後のコマは、現像処理でカットされることがあります。

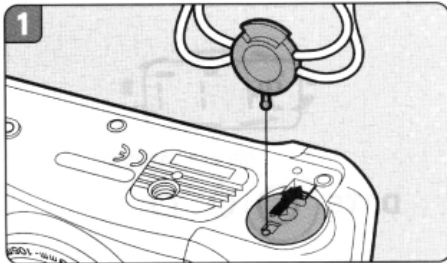
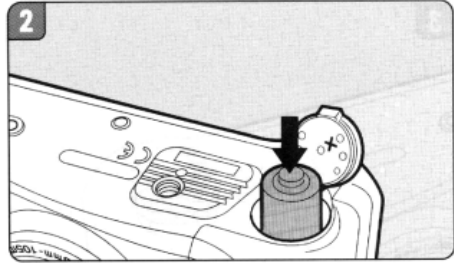
フィルムの途中巻き戻し［強制巻き戻し］

1. 途中巻き戻しボタン［O◂◂］をストラップの突起で押します。［巻き戻しが始まります］
2. 巻き戻しが終わると、モーターは止まり表示パネルの［0］が点滅します。
3. 表示パネルの［0］の点滅を確認してから、フィルムを取り出してください。

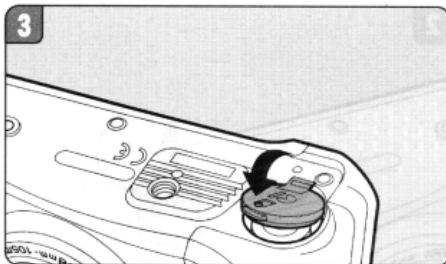
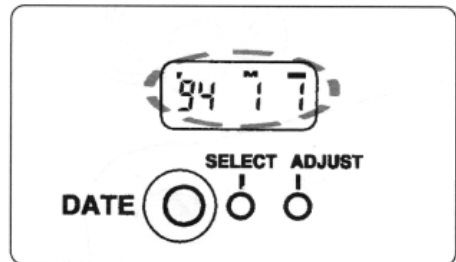
フィルムを規定枚数まで撮り終わらないうちに途中で取り出したいときにご利用ください。

- 途中巻き戻しは、電源が切れていても可能です。
- ストラップ留め具以外で巻き戻しボタンを押さないでください。巻き戻しボタンを傷付けることがあります。

電池の消耗警告

電池が消耗してくると表示パネルに［▭］マークが表示され警告します。早めに新しい電池と交換してください。

［▭］マークが点滅に変わると、シャッターがきれなくなります。

撮影できるフィルム本数［24枚撮り］
通常の撮影モードでストロボの使用率を50%にした場合・・・・・・・・・・約15本
［CR123A電池・当社試験条件による］

- 低温では、一時的に電池の性能が低下することがありますが、常温に戻れば使用できます。また、撮影できる本数が少なくなります。
- あらかじめカメラにセットされている電池はサンプル電池のため、上記のフィルム本数を撮影できないことがあります。

1. ストラップを利用して、電池ぶたを開けます。

2. 電池1本を図のように + 側を上にして入れます。

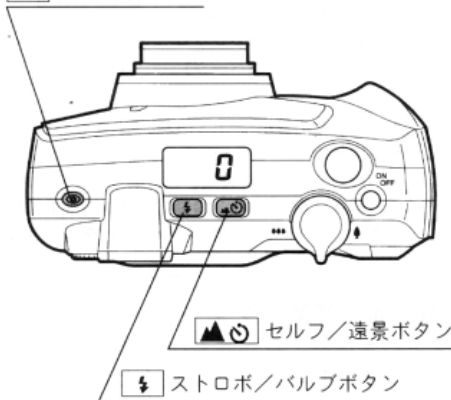
使用電池………………3Vリチウム電池 CR123A相当品（1本）

3. 電池ぶたは図のように矢印方向に押して閉めます。
電池ぶたが正しくロックされると、「カチッ」と音がします。

フィルムの途中で電池交換しても、そのままフイルム枚数は記憶されています。ただし、日付や時刻は初期状態に戻ってしまいますので、再度日付や時刻の修正を行ってください。

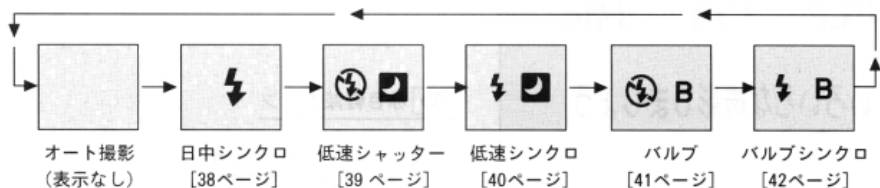
［修正方法は、50ページをご覧ください。］

- 電池を交換しても正しく作動しないときは、電池の向きを確認してください。
- 海外旅行・寒冷地での撮影や写真をたくさん撮るときは、予備電池をご用意ください。

応用編

いろいろな撮影しましょう

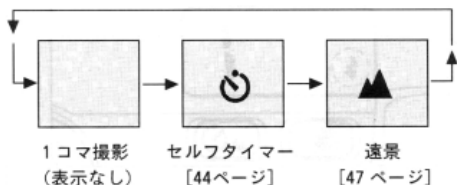
カメラの[👁]・[▲⏲]・[ϟ]ボタンを押して、表示パネルにマークを表示させるだけで簡単にいろいろな撮影モードを選ぶことができます。

[ϟ] ストロボ／バルブボタン

いろいろな「露出の方式」を選びます。

- 各機能の詳細については、それぞれの説明ページをご覧ください。
- 通常の撮影では、表示パネルにマークを出さない「オート撮影」に合わせてください。オート撮影は、暗いときや逆光のときにストロボが自動的に発光する最も一般的なモードです。電源を切るとオート撮影に戻ります。（自動電源オフ時は電源が切れる前に選ばれていたモードを記憶しています。）
- 「オート撮影」以外でシャッターを一度きって撮影した後に[ϟ]のボタンを押すと、「オート撮影」に戻ります。

[👁] 赤目軽減ボタン

ストロボ撮影で目が赤くなるのを目立たなくする「赤目軽減機能」をセットすることができます。43 ページをご覧ください。

▲ ⏲ セルフ／遠景ボタン

1コマ撮影・セルフタイマー撮影・遠景撮影を選びます。

● 各機能の詳細については、それぞれの説明ページをご覧ください。
● 電源を切ると「1コマ撮影」に戻ります。（自動電源オフ時は、電源が切れる前に選ばれていたモードを記憶しています。）

ϟ 日中シンクロ撮影［ストロボ強制発光］

ストロボ／バルブボタンを押して表示パネルに ϟ 表示を出し撮影します。

昼間の明るいときでもこのモードを使うと常にストロボが光ります。帽子などで人物の顔が暗くなってしまうときに利用すると、影の取れたきれいな写真が撮れます。また、常時ストロボ撮影を行ないたいときにもご利用ください。

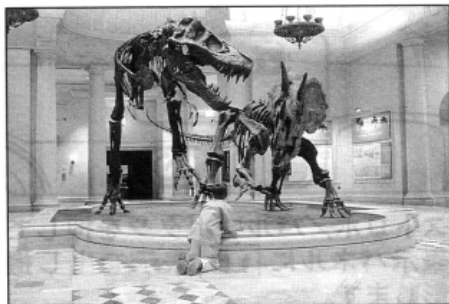
● 日中シンクロの場合にも、「ストロボ撮影できる距離の範囲内」で撮影してください。28ページをご覧ください。

ストロボなし

ストロボ使用　日中シンクロ

低速シャッター撮影［ストロボ発光禁止］

低速シャッター撮影

ストロボ／バルブボタンを押して表示パネルに 表示を出し撮影します。

暗くてもストロボを光らせません。夕景撮影やストロボが使えない場所［劇場、美術館など］での撮影にご利用ください。自然光や室内照明を生かした雰囲気のある写真を楽しめます。

- 低速シャッター撮影では、カメラぶれを防ぐために三脚などをご使用ください。

低速シンクロ撮影

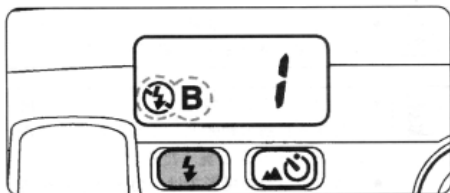
低速シンクロ撮影

ストロボ／バルブボタンを押して表示パネルに 表示を出し撮影します。

夕景などを背景に人物撮影をするときに使います。低速シンクロでは、人物にストロボ光を当て、背景は遅いシャッター速度で、どちらもバランス良く撮影できます。

- 低速シンクロの場合にも、「ストロボ撮影できる距離の範囲内」で撮影してください。28ページをご覧ください。
- 低速シンクロ撮影では、カメラぶれを防ぐために三脚などをご使用ください。

⊛B バルブ撮影

バルブ撮影
ISO400 で約 2 秒の撮影

ストロボ／バルブボタンを押して表示パネルに ⊛B 表示を出し撮影します。

花火や夜景の撮影など、シャッターを長時間開き続けて撮影をする場合にご利用ください。

- バルブ撮影は、シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。［最長約 5 分］
- 長い時間シャッターボタンを押し続けるほど、明るい写真になります。

- バルブ撮影では、カメラぶれを防ぐために三脚などをご使用ください。

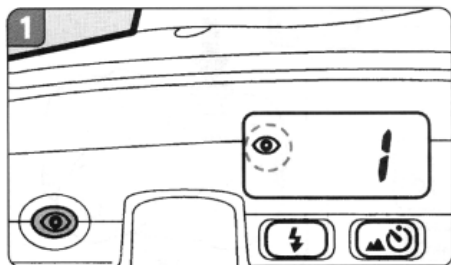
ϟB バルブシンクロ撮影

ストロボ／バルブボタンを押して表示パネルに ϟB 表示を出し撮影します。

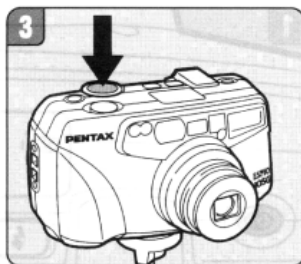
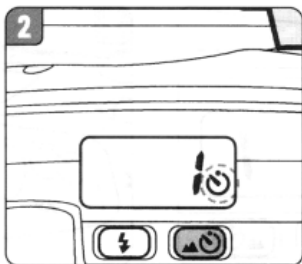
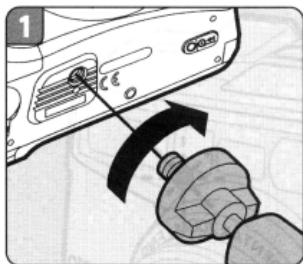
夜景などを背景にした人物撮影にご利用ください。バルブシンクロでは、バルブ撮影でストロボを光らさせます。人物にはストロボ光を当て、背景は長時間のシャッター速度で、どちらもバランス良く撮影できます。

- シャッターボタンを押している間、シャッターが開き続けます。［最長約 5 分］

- バルブシンクロの場合にも、「ストロボ撮影できる距離の範囲内」で撮影してください。28 ページをご覧ください。
- バルブシンクロ撮影では、カメラぶれを防ぐために三脚などをご使用ください。

赤目軽減機能について

1. 赤目軽減ボタンを押すと表示パネルに ◉ が表示されます。

2. このときにストロボ撮影を行うと、ストロボ撮影前に約 1 秒間セルフタイマーランプが点灯して、目が赤く写るのを目立たなくします。もう一度ボタンを押すと解除されます。

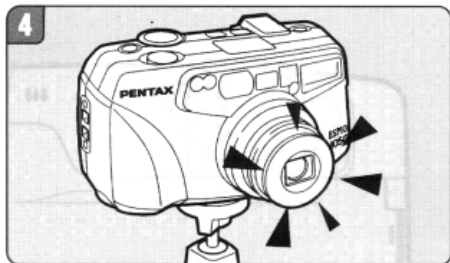
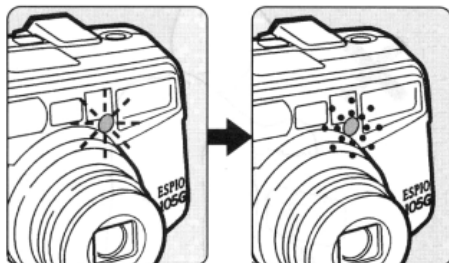
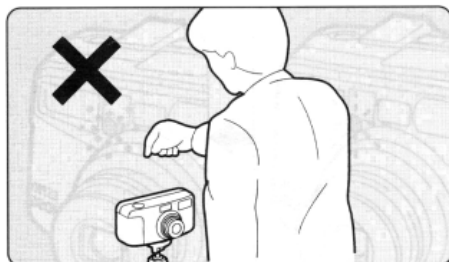
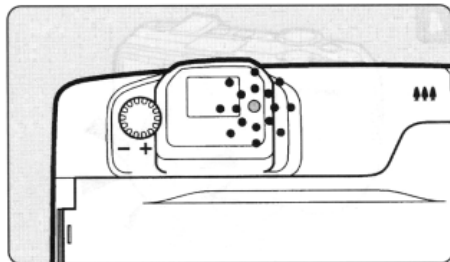
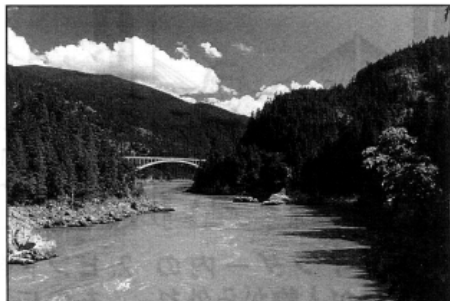
ストロボ撮影の赤目現象について
ストロボ撮影で人物の目が赤く写ることがあります。これは、目の網膜にストロボの光が反射して発生する現象です。人物の周りを明るくしたり、撮影距離を近くにしてレンズを広角側[38mm側]で撮影すると、発生しにくくなります。ただし赤目現象の出やすさは個人差があり、軽減ボタンを押しても軽減されないことがあります。

セルフタイマー撮影

1. カメラを三脚に取り付けます。

2. セルフ／遠景ボタンを押して、表示パネルに 表示を出します。

3. 写したいものにピントを合わせてから、さらにシャッターボタンを押すと、セルフタイマーがスタートします。

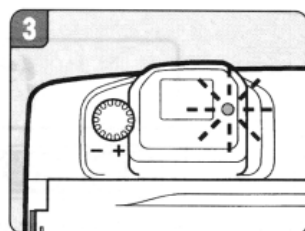
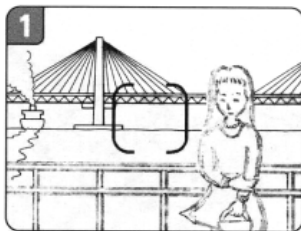
撮影者も入って記念撮影をするときなどにご利用ください。

- セルフタイマーをスタートさせた後に中止したいときは、シャッターボタンと途中巻き戻しボタン以外の操作ボタンを押してください。

4. 約10秒後に自動的にシャッターがきれます。

セルフタイマーの作動中は、表示パネルの ⏲ の点滅とセルフタイマーランプの点灯で知らせます。シャッターがきれる約３秒前からセルフタイマーランプは点滅に変わります。

カメラの前側に立ってセルフタイマーをスタートさせると、写したいものにピントが合わなくなることがありますので後側でスタートさせてください。

ピントが合っていない場合か、ストロボ充電中［緑ランプ点滅］は、ピントを合わせなおすか、ストロボの充電完了［緑ランプ点灯］を確認してから、セルフタイマーをスタートさせてください。

遠景撮影

セルフ／遠景ボタンを押して、表示パネルに ▲ 表示を出し撮影します。

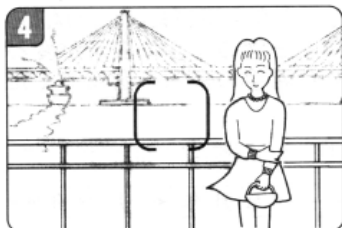
遠くの風景を撮影する際にご利用ください。また、金網やガラス越しでの撮影に使用するとピントが遠くに固定されますので、誤って近くの金網やガラスにピントが合ってしまうのを防げます。

- 一度撮影をすると遠景撮影は解除されます。
- 遠景撮影時は、露出方式が「オート撮影」では、暗くても ストロボは光りません。

フォーカスロック撮影

1. ファインダー内の〔 〕が人物から外れたままで撮影すると、図のように後ろにピントが合ってしまいます。

2. ピントを合わせたいものに〔 〕を合わせます。

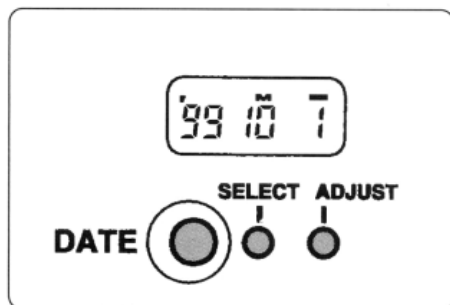
3. シャッターボタンを少し押して、緑ランプを点灯したままにしておくと、ピントが固定されます。

- このとき、露出も同時に固定されます。

4. シャッターボタンを少し押したまま元の写したい構図にして、シャッターをきります。

● フォーカスロックは、シャッターボタンから指を離すと解除されます。

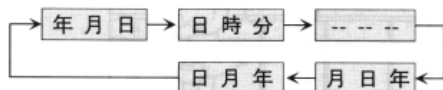
写真に日付や時刻を写し込みます

'99 10 7

SELECT ADJUST

DATE

このカメラは、2019年までのオートカレンダー機能を持っています。日付や時刻の表示は、ほぼ正しくセットしてあります。

● デート表示窓に表示されている日付や時刻が写真に写し込まれます。
● 日付や時刻を写し込みたくない場合は、------ に合わせます。
● デート表示窓に表示されている M は「月」の位置を示しています。

写し込みたい内容を選びます。DATE ボタンを押すと図のように表示が変わりますので、希望の表示を選んでください。

日付や時刻の修正

1. SELECT ボタンを押して修正したい数値を点滅させます。
2. ADJUST ボタンで点滅させた数値を変更します。

● 数値は、ボタンを1回押すごとに1つ進み、押し続けると約1~2秒後からは早送りされます。

3. 修正後は、SELECT ボタンを押して、点滅を止めます。

● 日付の修正を行ったときは、必ず時刻の修正も行ってください。

- [SELECT] および [ADJUST] ボタンを押すときは、ストラップ留め具の突起をご使用ください。
- 修正中[点滅表示中]は、シャッターをきっても日付や時刻は写し込まれません。
- 「年月日」表示の「年」は、1999年では「99」、2001年では「01」のように下2ケタのみが表示されます。
- 0秒にセットするには、「日時分」表示のときに[SELECT]ボタンで[:]表示を点滅させ、[ADJUST]ボタンを時報などに合わせて押してください。
- 「年月日」と「日時分」を同時に写し込むことはできません。
- シャッターをきるとデート表示窓の[ー]が点滅し、写し込みが行なわれたことを知らせます。
- 電池交換を行うと、日付が「94.1.1」、時刻が「0時0分」に変わりますので、必ず日付と時刻の修正を行ってください。

この写真の数字はハメコミ合成です。

- 日付や時刻が写る部分に白・黄色などの明るい物があると、日付や時刻が見えにくくなります。日付や時刻が写る部分には明るいものがこないようにしましょう。

主な仕様

形式……………………ズームレンズ内蔵フルオート35mmレンズシャッターカメラ[デート付き]
使用フィルム…………35mmDXフィルム専用[135パトローネ入り] ISO25～3200自動感度セット[1EVステップ] DX以外＝ISO25固定
画面サイズ……………24×36mm
フィルム入れ…………オートローディング、裏ぶた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ
巻き上げ………………自動巻き上げ式
巻き戻し………………フィルム終了時自動巻き戻し式[巻き戻し時間：24枚撮りフィルムで約20秒]巻き戻し終了時自動停止、途中巻き戻し可能
撮影枚数………………自動復元順算式、巻き戻しに連動[減算]
外部表示………………表示パネルにLCD液晶表示
レンズ…………………ペンタックス38～105mmF4.5～11電動ズームレンズ　5群6枚　画角59°～23.5°
ピント合わせ…………アクティブAF方式、フォーカスロック可能、撮影測距範囲＝0.65m～∞[最大倍率0.188×]、遠景撮影あり[ピントは無限遠に固定]
ズーミング……………電動式
シャッター……………プログラムAE電子式シャッター＝約1/360～1秒、バルブ[1/2秒～5分]、電磁レリーズ式
セルフタイマー………電子式ランプ表示、作動時間約10秒、作動後の解除可能
ファインダー…………実像式ズームファインダー、視野率83%、倍率0.42×[38mm側] 1.03×[105mm側]視度調整付き　$-3 \sim +1m^{-1}$ [毎メートル]、オートフォーカスフレーム、近距離視野補正枠、緑ランプ点灯：撮影可能　点滅：測距不能・近距離警告・ストロボ充電中

露出……………………プログラム式自動露出[マルチ測光]露出連動範囲[ISO400] オート、日中シンクロ時＝EV10～EV17[38mm側] EV14～EV19[105mm側] 低速シャッター撮影時＝EV6.5～17[38mm側] EV7～19[105mm側]逆光時自動露出補正可
露出計スイッチ………シャッターボタン
ストロボ………………ズームオートストロボ内蔵[赤目軽減機能付き]、オート＝低輝度、逆光時自動発光、ストロボON＝日中シンクロ／低速シンクロ[1秒まで使用可能] バルブシンクロ＝1／2秒～5分
ストロボ撮影範囲……[ISO400使用時] 38mm側＝0.65～8.2m、105mm側＝0.65～3.3m
ストロボ充電時間……約5秒 [当社試験条件による]
使用電池………………3Vリチウム電池[CR123A相当品] 1本使用
電源……………………自動電源オフ(放置後約3分)
撮影可能本数…………24枚撮りフィルム使用時 約15本[ストロボ50%使用、当社試験条件による]
電池消耗警告…………表示パネルに [電池マーク] が点灯、点滅時シャッターロック
デート機構……………クォーツ制御・液晶表示式デジタル時計、オートカレンダー[西暦2019年まで、閏年は自動修正]
データ写し込み方法…フィルム背面からの写し込み
データの種類…………❶年・月・日 ❷日・時・分 ❸-- -- --[データ写し込み無し] ❹月・日・年 ❺日・月・年
大きさ・質量[重さ]…118.5[幅]×69.0[高さ]×55.5[厚み]mm 255g[電池別]
付属品…………………ストラップEJ、ソフトケースES

こんなときは？[詳しくは、各ページをご覧ください。]

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください。

症状	原因・対処
症状1：シャッターがきれない。	原因・対処1： ●電源は入っていますか。電源を入れてください。[14ページ] ●電池は入っていますか。電池が消耗していませんか。[32、33ページ] ●表示窓に [0] が点滅している場合は、フィルムが終了しています。新しいフィルムと交換してください。[16、29ページ] ●表示窓に [E] が点滅している場合は、フィルムが正しく入っていません。正しく入れ直してください。[19ページ]
症状2：写真の出来が良くない。	原因・対処2： ●ピントを合わせたいものにファインダー内の [ ] を合わせて撮影してください。[24ページ] ●緑ランプの点灯を確認してから撮影してください。[25ページ] ●指や髪などで測距窓を覆わないようにして、シャッターボタンは静かに押してください。[15ページ] ●測距窓が汚れていませんか。[15ページ]
症状3：ズームレンズが勝手に動いた。	原因・対処3： ●電源を入れたまま放置した場合は、放置後約3分間たつと、自動的に電源が切れます。[14ページ]
症状5：暗くないのにストロボが光る。	原因・対処5： ●逆光でも自動的にストロボが光ります。[27ページ] ●表示パネルに [ϟ] が表示されていませんか。[38、40、42ページ]
症状6：表示パネルに [H]、[U] の表示が出る。	原因・対処6： ●ズームレバーなどを動かしてみてください。表示が消えればそのままご使用になれますが、度々出る場合には故障の可能性があります。

アフターサービスについて

・旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリーが展示され、お手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

1. 本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間無料修理致しますので、お買い上げ店か使用説明書に記載されている最寄りの当社サービス窓口にお申し出ください。修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口に直接お持ちください。修理品ご送付の場合は、化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に耐えるようしっかりと梱包してお送りください。不良見本のフィルムやプリント、また故障内容の正確なメモを添付していただけると原因分析に役立ちます。
2. 保証期間中[ご購入後1年間]は、保証書[販売店印および購入年月日が記入されているもの] をご提示ください。保証書がないと保証期間中でも修理が有料になります。なお、販売店または当社サービス窓口へお届けいただく諸費用はお客様にご負担願います。また、販売店と当社間の運賃諸掛りにつきましても、輸送方法によっては一部ご負担いただく場合があります。
3. 次の場合は、保証期間中でも無料修理の対象にはなりません。
   ・使用上の誤り(使用説明書記載以外の誤操作等)により生じた故障。
   ・当社の指定する修理取扱い所以外で行われた修理・改造・分解による故障。
   ・火災・天災・地変等による故障。
   ・保管上の不備(高温多湿の場所、防虫剤の入った場所での保管等)や手入れの不備(泥・砂・ホコリ・水かぶり・ショック等)による故障。
   ・保証書の添付のない場合。
   ・販売店名や購入日等の記載がない場合ならびに記載事項を訂正された場合。
4. 保証期間以後の修理は有料修理とさせていただきます。なお、その際の運賃諸掛りにつきましてもお客様のご負担とさせていただきます。
5. 本製品の補修用性能部品は、製造打ち切り後7年間を目安に保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受け致します。なお、期間以後であっても修理可能の場合もありますので、当社サービス窓口にお問い合わせください。
6. 海外旅行をされる場合国際保証書をお持ちください。国際保証書は、当社サービス窓口でお持ちの保証書と交換に発行しております。[保証期間のみ有効]

さくいん

あ行

赤目軽減機能 43
赤目軽減ボタン 36、43
赤目現象 43
アフターサービス 55
裏ぶた 16
裏ぶた開放レバー 16
液晶表示［LCD］ 6
遠景撮影 47
オートカレンダー 50
オート撮影 36

か行

各部の名称 4
カメラの構え方 15
逆光 27
クイックガイド 58
こんな写真を撮るには？ 10
こんなときは？ 54

さ行

三脚を取り付ける 44
自動電源オフ 14
視度調整 20
仕様 52
使用電池 33
シャッターボタン 15、25
ストラップ 13
ストラップ留め具 13、31、33、51
ストロボ撮影 27、28、38、40、42
ストロボ強制発光 38
ストロボ自動発光 27

ストロボ発光禁止	39、41
ストロボ／バルブボタン	35、36
ズーミング	23
ズームレバー	23
セルフタイマー撮影	44
セルフタイマーランプ	45
セルフ／遠景ボタン	35、37
ソフトケース	12

た行

途中巻き戻し	31
低速シャッター撮影	39
低速シンクロ撮影	40
手ぶれ［カメラぶれ］	18、39、41
電源を入れる	14
電源を切る	14
電池交換	33
電池消耗警告	32
電池ぶた	33
デートボタン	50
取り扱い上の注意	3

な行

日中シンクロ撮影	38

は行

バルブ撮影	41
バルブシンクロ撮影	42
日付や時刻の写し込み	50
日付や時刻の修正	50
表示パネル	6
ピント合わせ	24、26、48

ファインダー	21
フィルム感度	18
フィルム検知部	17
フィルム先端マーク	17
フィルムを入れる	16
フィルムを途中で取り出す	31
フィルムを取り出す	29、31

ま行

緑ランプ点灯	22、24
緑ランプ点滅	22、25
目次	7

ら行

ランプ表示	22
レンズ	15

英数字

CEマーク	表紙裏
DXフィルム	18

PENTAX® ESPIO 105G クイックガイド

クイックガイド（このページは、切り取ってソフトケースなどに入れてお使いください。）
こんな写真を撮りたいと思ったときに、表示パネルに下の表示を出すだけで簡単に撮影ができます。

⚡ ボタン

オート撮影
最も一般的なモードです。暗い所や逆光では自動的にストロボが光ります。

⚡ 日中シンクロ[強制発光]
明るくても暗くても常にストロボが光ります。帽子をかぶった人物撮影など、逆光以外で人物が暗くなってしまう時に使います。

低速シャッター撮影[発光禁止]
暗くてもストロボを光らせません。ストロボが使えない美術館や室内の照明を利用した撮影をしたいときに使います。

⚡ 低速シンクロ撮影
夕景をバックにした人物撮影などで、人物にストロボを当てることで、夕景と人物をバランスよく撮影できます。

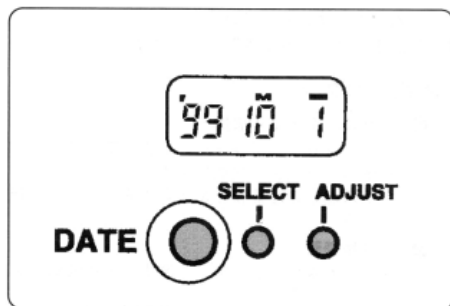
B バルブ撮影
花火や夜景の撮影に使います。シャッターボタンを押している間シャッターが開き続けます。

⚡B バルブシンクロ撮影
バルブ撮影でストロボを光らせます。夜景をバックにした人物撮影などに使います。

ボタン

セルフタイマー撮影
自分自身も写真に写りたいときに使います。10秒後にシャッターが切れます。
ガラス越しの遠景などを撮影するときにご利用ください。

遠景撮影
遠くの風景やガラス越しの遠景などを撮影するときにご利用ください。

PENTAX® ESPIO 105G クイックガイド

日付や時刻の修正

1. SELECT ボタンを押して、修正したい数値を点滅させます。
2. ADJUST ボタンを押して、点滅させた数値を変更します。
3. 修正後は、SELECT ボタンを押して、点滅を止めます。

- 日付の修正を行ったときは、必ず時刻の修正も行ってください。
- SELECT および ADJUST ボタンを押すときは、ストラップの留め具の突起を使用してください。
- 修正中[点滅表示中]は、シャッターをきっても日付や時刻は写し込まれません。
- 「年月日」表示の「年」は、1999年では「99」、2001年では「01」のように下2ケタのみが表示されます。
- 0秒にセットするときには、「日時分」表示のときに SELECT ボタンを何度か押し「：」を点滅させて、ADJUST ボタンを時報などに合わせて押してください。

「林檎の秘密」
すぐに役立つ写真の基礎知識

露出の仕組みや光の測り方、ピントの合わせ方など写真の基礎を豊富なイラストと作例でわかりやすく解説しています。お求めは、ペンタックスサービス窓口・ペンタックスファミリーまたは、最寄りのカメラ店で。

ペンタックスファミリーのご案内

ペンタックスファミリーは、ペンタックス愛用者の写真クラブです。
年4回の会報と写真年鑑の配布、イベントの参加や修理料金の会員割引など様々な特典があります。
お申し込み・お問い合わせは下記ペンタックスファミリー事務局まで。
〒100-0014　東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅坂ビル3階　電話 03（3580）0336

●お問い合わせは次の各サービス窓口へ

窓口	〒	住所	電話
ペンタックスフォーラム	〒163-0401	東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1階（私書箱240号）	☎03(3348)2941(代)
旭光学 東　京サービスセンター	〒104-0061	東京都中央区銀座西8-10（土橋交差点交番並び）	☎03(3571)5621(代)
〃 札　幌サービスセンター	〒060-0010	札幌市中央区北10条西18-36 ペンタックス札幌ビル4階	☎011(612)3231(代)
〃 仙　台サービスセンター	〒981-3133	仙台市泉区泉中央1-7-1 千代田生命泉中央駅ビル5階	☎022(371)6663(代)
〃 新　潟サービスセンター	〒951-8067	新潟市本町通７番町1153 新潟本町通ビル 4階	☎025(224)8391(代)
〃 横　浜サービスセンター	〒231-0047	横浜市中区羽衣町2-7-10 日本生命関内ビル8階	☎045(232)5281(代)
〃 静　岡サービスセンター	〒420-0858	静岡市伝馬町24-2 住友建設ビル5階	☎054(255)6308(代)
〃 名古屋サービスセンター	〒461-0001	名古屋市東区泉1-19-8	☎052(962)5331(代)
〃 大　阪サービスセンター	〒542-0081	大阪市中央区南船場1-17-9 パールビル2階	☎06(6271)7996(代)
〃 広　島サービスセンター	〒733-0035	広島市西区南観音3-5-2 空港通りビル6階	☎082(234)5681(代)
〃 福　岡サービスセンター	〒810-0802	福岡市博多区中洲中島町3-8 パールビル1階	☎092(281)6868(代)
〃 お客様相談室	〒104-0061	東京都中央区銀座西8-10（土橋交差点交番並び）	☎03(3572)6479

※日曜・祝日および土曜日は原則として休みます。
ただし、年末年始を除きペンタックスフォーラムは年中無休です。

56630

☆この使用説明書には再生紙を使用しています。
☆仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。　01-9909